



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 細谷 俊夫 幹 事 伴 誠 会報・雑誌委員長 床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3052号 2024年7月9日(晴れ) 第2回例会 会員数102名

ハイブリッド例会

点 鐘 細谷会長
司 会 副SAA 飯村会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ 小付 揚げ物 鶏ももカレーソース
煮込み 香の物 汁 御飯 デザート



会長挨拶 細谷会長

皆さん、こんにちは。昨日の暑さと比べると過ごしやすかったので、出席も多いかと思いましたが、先週に比べて少し少ない気も致します。本日もご参加いただき、ありがとうございます。

本日は、皆様もよくご理解されていると思いますが、お忘れの方もいらっしゃるかと思いますので、ロータリーの行動規範についてお話させていただきます。ロータリーの行動規範は、全会員には以下のことが求められる。とあります。

1. 個人として、また事業において、高潔さと、高い倫理基準を持って行動する。
2. 他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の行動規範」を遵守することが含まれる。
3. ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人々の生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリー関連行事のすべての行動規範に従う。

とあります。以上の行動規範は、「四つのテスト」と並び、すべてのロータリアンの倫理的行動

の枠組みとなるものです。

本日は、各委員会の事業計画の発表がありますので、発表する各委員会の委員長の皆様、よろしくお願いいたします。



幹事報告 伴 幹事

◇本日18時30分~ ホテルニューイタヤにて細谷年度第1回定例理事会開催。

◇来週、第3例会、委員会の事業計画発表。

委員長が発表できない場合は代理の方を。

◇先月6月30日をもって、矢板ロータリークラブが脱会。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会 中山委員
渡邊有規会員

7月6日に孫が生まれました。4人目です。長女に男の子の孫。大変にありがたいです。感謝致します。

古瀧友章会員

先日のボックス・ゴーで、メンバーとハンディに恵まれ優勝させていただきました。

◇出席委員会

<皆出席表彰・6月分>

通算34年 野口 忠男 会員
連続30年 若度 哲久 会員
連続25年 小林 正明 会員
連続8年 伴 誠 会員
連続2年 今泉 一 会員



卓 話

今年度各委員会の事業計画の発表（1）

1. クラブ奉仕委員会 片嶋常隆委員長
クラブ奉仕部門の委員会（出席・スマイルボックス・会報雑誌・ソーシャルメディア）の活動が円滑に行われるように協力し、クラブ運営の活性化に努めて参ります。クラブ活動の基本である例会を充実させるため、委員会で検討していきたいと思ひます。欠席しがちな会員への声かけを行う等、実践していきたいと考えています。
2. 出席委員会 鈴木 明委員長
①出席することがロータリークラブの基本であります。クラブ会員の出席率の向上に努めます。
②皆出席者の表彰を、感謝を込めて行ひます。
③ロータリークラブ主催の各種会合への参加を促し、活性化に努めます。
3. スマイルボックス委員会 中山靖之委員（山下大介委員長代理）
①会員の皆様の喜ばしい出来事、お祝い事等を、スマイルボックスを通じて御提供いただき、会員同士の親睦を深めていきます。
②スマイルボックスで集まったお金が有効に活用されるよう推進してまいります。
4. 会報・雑誌委員会 床井光雄委員長
クラブの魅力アップということで、会長はじめ、プログラム委員会等の委員会とコミュニケーションを図りながら、協力していければと思ひます。公的な行事だけでなく、会員のプライベートなトピックスも取り入れ、より興味が湧く会報としたいと思ひますので、皆様からの情報提供を宜しく願ひいたします。
5. ソーシャルメディア委員会 渡辺純一委員長
主に、前年度に引き続きという活動をしてまいりますが、特に、マイロータリーの活用を推進していければと思ひています。また、SNSを通じて、クラブの活動を対外に発信する活動もしていきたいと思ひています。
6. 会員増強委員会 金子 剛委員長
当クラブは会員数102名の大型クラブですので、純増4名を目標に活動致します。
①新会員に入会前に十分な説明と出席率を高め、親睦を強固にします。
②趣味の会の入会を促して、会員間のつながりを深めます。
③入会3年未満の会員とベテラン会員（15年以上）との交流会を行います。
④退会原因、理由等の要因を分析して、施策

を考えます。

- ⑤若い世代（40～50歳代）のロータリアンからの仲間（知人・友人）を重点的に会員増強のターゲット層とします。
7. 職業分類委員会 青木格次委員長
①適切な職業分類を検討、分類表を作成します。
②現会員の職業分類を適切に再検討します。
③未充填職業分類を公表し、当該職業分類の会員の増強を図ります。
④会員増強委員会及び会員選考委員会と密接に協議を行い、会員増強を促進します。
8. 会員選考委員会 稲見京二委員長
会員増強委員会から推薦された方々について、職業、社会的地位、その他、当クラブにふさわしいかどうかを検討します。結果を理事会に報告するとともに、関係委員会と連絡を密にし、会員増強に寄与したいと考えております。
9. ロータリー米山記念奨学会委員会 手塚正智委員長
①奨学事業の理解促進
米山奨学会事業の理解を深めるためにも10月の米山月間において米山奨学生からの卓話を予定しています。
②奨学会への寄付増進への取り組み
米山奨学会事業について、その理念や現状を再確認し、より多くの会員から特別寄付の協力を頂けるよう努め、会員一人当たり地区目標額（¥19,000）達成に向けた取り組みを進めて参ります。毎月第3例会時に寄付を募りますので、会員の皆様は第3例会にはお財布に寄付金をたくさん入れて出席ください。
③奨学生の受け入れと交流促進
世話クラブとして引き受けている学生を引き続き学業支援、そしてクラブ会員との交流、親睦を深めるよう努めます。また、サブ世話クラブとして支援もして参ります。
10. ロータリー米山記念奨学会学友委員会 手塚正智委員長
①ロータリー米山奨学会委員会と連携して、米山奨学会の学友が実施する国際親善・友好交流等の活動に対して支援協力を行います。
②世話クラブで引き受けた米山奨学生が、奨学期間終了後も当クラブと交友関係を維持・継続するための方策を考案し、実施に努めます。
③地区と連携し、米山奨学会ホームカミング制度の活動推進に努めます。